

日本と東アジア：現代史研究の新史料・新手法・新  
成果

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-04-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大野, 旭 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00026390">https://doi.org/10.14945/00026390</a>

## 国際シンポジウム・その二

# 日本と東アジア

——現代史研究の新史料・新手法・新成果——

主 催：静岡大学人文社会科学部アジア研究センター

開催日：2018年10月27日(土) 13：00～18：00

場 所：一般社団法人 国際善隣協会 5階会議室（東京都港区新橋1-5-5）

趣 旨 説 明：楊海英（＝大野旭 静岡大学人文社会科学部教授・アジア研究センター長）

13：00～13：05

1. ボルジギン・フスレ（昭和女子大学国際学部国際学科教授） 13：10～14：00  
「アーカイブから20世紀前半の内モンゴルの歴史を読みなおす」
2. 澤井充生（首都大学東京・社会人類学分野助教） 14：10～15：00  
「日本軍と接触した“回奸”のライフ・ヒストリー——内モンゴルに暮らした回民の植民地経験」
3. ミンガト・ボラク（内モンゴル自治区シリーンゴル盟職業学院教育学部講師） 15：10～16：00  
「ソ連の対日参戦の舞台裏——貝子廟僧侶虐殺事件となぞの日本人“ノーノガイ”」
4. 楊海英（＝大野旭 静岡大学人文社会科学部教授） 16：10～17：00  
「世界史・世界革命の中の20世紀内モンゴル——特に日本との関連から研究成果を振り返る」

総合討論 17：10～17：30

国際シンポジウム

# 日本と東アジア

—現代史研究の新史料・新手法・新成果—

開催日

2018. 10/27 (土)

13:00~18:00

場 所：一般社団法人 国際善隣協会5階会議室  
(東京都港区新橋1-5-5)

主 催：静岡大学人文社会科学部アジア研究センター



■ 趣旨説明：楊海英 (＝大野旭 静岡大学人文社会科学部教授・アジア研究センター長)

1. ボルジギン・フスレ (昭和女子大学国際学部国際学科教授)  
「アーカイブから20世紀前半の内モンゴルの歴史を読みなおす」

2. 澤井充生 (首都大学東京・社会人類学分野助教)  
「日本軍と接触した“回奸”のライフ・ヒストリー  
—内モンゴルに暮らした回民の植民地経験」



3. ミンガト・ボラク (内モンゴル自治区シリーンゴル盟職業学院教育学部講師)  
「ソ連の対日参戦の舞台裏  
—貝子廟僧侶虐殺事件となぞの日本人“ノーノガイ”」

4. 楊海英 (＝大野旭 静岡大学人文社会科学部教授)  
「世界史・世界革命の中の20世紀内モンゴル  
—特に日本との関連から研究成果を振り返る」

会場への交通案内

〒105-0004 東京都港区新橋1-5-5  
(URL <http://www.kokusaizenrin.com/>)  
JR新橋駅銀座口200m  
東京メトロ銀座線新橋駅1番出口50m  
都営浅草線新橋駅3番出口300m  
ゆりかもめ新橋300m

お問い合わせ：☎ 054-238-4501 (大野旭)